

デーリー東北 2024年(令和6年)9月27日(金曜日) (3)

「特定技能1号」7人取得

八工大、外国人技術者育成講座修了式

ミャンマー人 県内外に就職へ



坂本禎智学長（左から4人目）から修了証を授与されたミャンマー人の留学生=26日、八戸市

八戸工業大（坂本禎智学長）は26日、国内企業で就労できる外国人技術者を育成する、産学官連携の取り

組み「外国人特定技能エンジニアプログラム」の修了式を同大で行った。4〜9月の半年間、専門教育を受

けたミャンマー人の留学生7人は、最長5年間働ける自動車整備と建設分野の在留資格「特定技能1号」を取得。いずれも青森県内外の企業への就職が決まっており、今後は永住可能な「特定技能2号」を目指す。

本年度から始動したプログラムは、企業の人手不足の解消、ものづくり産業への貢献、地域定住につながるのが狙い。自動車整備と建設、工業製品製造業の3コースを設けた。

同大、外国人の登録支援機関のTSB・ケア・アカデミー（東京）、県内外の企業、八戸市が連携。同大は専門教育を提供し、学費は内定先の企業が立て替えて、3年間就業すれば免除となる仕組みだ。市は市営住宅を安価に貸し出した。

式では、修了証を授与した坂本学長が「これから特定技能分野の産業を支える人材として成長し、活躍することと、健康で充実した生活を送ることを願っている」と激励した。

修了生は自動車整備が4人、建設が3人。代表し、あいさつしたワーワーアウンさん(33)は、県内の自動車ディーラーに就職することになっており、「皆さんに感謝している。夢の実現に向けて頑張る」と決意を

新たにした。
10月〜3月はミャンマー人の留学生11人が工業製品製造業コースを受講する。
(工藤洋平)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。